

富山市総合計画前期基本計画（案）
市民説明会概要

場 所 八尾コミュニティセンター
日 時 平成18年11月23日（木）
午後5時～午後6時30分

1 開 会

2 部会長挨拶

山西協働部会長あいさつ

まちづくりを推進するにあたっては、市民と行政が協働した取り組みが重要であり、市民の皆さんがまちづくりに積極的に参画する意識を持つことが大切である。

本日は、市民の皆さんから積極的な意見をいただき、より良い計画にしたいと考えている。忌憚のない意見をお願いしたい。

3 説 明

前期基本計画（案）について説明

4 質疑応答

（市 民） まちづくりの主要課題と総合計画前期基本計画の施策及び総合計画事業（165事業）の関連はどのようになっているのか。

成果指標の中に学校の改築に関する記載がないが、今後どのようになっているのか。

（事務局） 主要課題については、施策を横断して対応する必要があるため、主要課題に対応する主な施策の推進ということで、改めて整理している。

総合計画事業の中での学校の改築については、小学校9校、中学校4校としている。

（市 民） 旧の町村の総合計画をどのようにいかして、今回の計画を策定したのか。

（事務局） 合併の際に策定された建設計画は、合併協議の中で旧の市町村の総合計画を基に中長期的な視点で調整され策定された。

今回の総合計画はその新市建設計画を踏まえながら策定中という段階である。

(市 民) この総合計画は総花的になっている。国の予算も決まれば、なお一層厳しい行政運営となると思うが、事業として絞り込むもの、切り捨てるものをはっきりとさせてはどうか。

地域の活性化のためには企業の誘致が必要であるし、八尾地域の中心部では、高齢化が深刻になっていることから、高齢人口が増えていくのをどう食い止めるかなど、具体的な施策が問われている。

また、協働のまちづくりのためには、市民と行政の役割分担をどうするかというところが非常にあいまいな感じを受ける。

(事務局) 総合計画の性格上、行政の業務全体を含むものであることから、網羅的にならざるを得ない面もあるが、選択と集中を考えることは重要と思う。

個別具体の事業については、個別の事業の計画の中で市民の方々に意見をいただき、議論されていくものと考えている。

(市 民) 高山本線沿線のまちづくり事業の具体的内容はどうなっているのか。

教育基本法の改正に伴って、社会教育法も見直されると思うが、改正の結果によっては、地域公民館をコミュニティセンター化し市長部局に移すと聞いた。市としてそのような考えはあるのか。

(事務局) 高山本線沿線のまちづくり事業は、駅舎やトイレ、アクセス道路の整備を、まちづくり交付金を活用し行うことになっている。

市としては、市民の方々が拠点駅までこられれば、後は公共交通の利便性を高め、中心部まで簡単に行ける、歩いて暮らせるまちづくりを行いたいと考えている。

公民館を市長部局へ移すということは今のところ考えていない。

(市 民) 住民は、「総合計画の策定の際に、合併の際の懸案事項を頭に置きながら協議されたのか」、「建設計画の短期・中期的な事業がこの前期基本計画にどれだけ反映されているのか」、「どれだけ反映されたかが今後どのような形で示されるのか」、の関心が高い。今後、具体的なものを示した形で討論をお願いしたい。

(市 民) 合併時に各市町村が提示し、合意したものを、前期基本計画に盛り込んでいないと、合併して良かったとは思わない。このことをしっかりと述べておきたい。

(事務局) 今回示した前期基本計画は、基本構想、基本計画、実施計画の基本計画に当る部分であり、基本的には、今後5カ年間で、各施策をどのような方向で推進するかを述べている。個々の具体的な事業は、実施計画で示すことになる。

基本計画では、今後5カ年の間に、想定される国などの動向を見据え、財政状況を試算した結果、現時点で可能と思われる事業を想定している。ただし社会状況により、財政状況等は変化することから、個別事業を示す実施計画は毎年見直されることとなる。

(市民) 成果重視をうたっているが、トップダウン型の計画だと、課題の見方に無理が生じる場合がある。トップダウンの事業とボトムアップの事業をバランスよく実施し、PDCAの中の課題を正確に的確に捉え、成果を出すよう努力してほしい。

持続可能な行政運営のためにも、行政と住民とお互い知恵を出しながら進めていかなければならない。年次計画といえども、絶えずローリングすることが必要であり、住民も納得できる形で計画を推進してほしい。そのためにも、求める住民にはメールマガジンでこの計画の進捗情報を提供すれば、計画も良い方向に向かうと思う。

いずれにせよ、良い計画と思うので、今後行政と住民とがお互いに努力することが必要と思う。

合併協議会で約束されたものについては、皆が納得できるよう、一つ一つ丁寧に取り組んでほしい。

(市民) 中山間地域の過疎化や、都心の空洞化が述べられているが、一部地域では、カドミウム汚染田の大規模開発により、人口が急激に増加している地域もある。過疎化の反面、急増している地域もあることを記載しないと片手落ちにならないか。

(事務局) 過疎化だけが地域の課題ではないというご意見と思うが、例えば過疎は有効な対応策を打ち出すことが困難である。そういう意味での課題を整理しているとご理解いただきたい。

(市民) 急激に人口が増加することにより、安全・安心なまちづくりに問題が出るのではないかという趣旨である。

(市民) 主要課題の中に、農業に対する課題を見て取れない。農業は生活の基本となるものであることから、どのような対応をとっていくのか。

(事務局) 主要課題(10)地域産業の活性化で地産地消など農業の対応について触れている。

また、まちづくりの目標 個性と創造性に満ちた活力あふれるまちの政策 4 新しい価値を創造する活力ある産業の振興の施策(2)とやまの魅力と活力を築くものづくり・しくみづくりの中でも、地域に根ざした農林漁業への支援として対応について述べている。

(市民) 結婚が晩婚化している状況や、出会いの機会がないことで、未婚の人が増えている。少子化への対応には、これらに対する視点が必要ではないか。

(事務局) 市の事業として、男女の出会いの場を提供しているが、今後は、民間事業者との連携を含め、検討していきたい。

(部会長) 貴重な意見をいただいた。協働のまちづくりのためには、皆さんの意見が必要である。事務局は、これらの意見をこれからの施策の中に生かしてほしい。

(事務局) 本日はありがとうございました。

5 閉会

参集した市民 約60名